

平成30年度 川崎市

防災 シンポジウム

日時

平成31年 1月17日(木)
14時00分～16時10分

会場

エポックなかはら 大ホール
(川崎市総合福祉センター)

川崎市中原区上小田中6-22-5
JR南武線「武蔵中原」駅前(連絡通路あり)

入場無料・事前申込不要

第1部 基調講演

「災害時の居住環境」

～保健所・環境衛生監視員の視点から～

【講演者】

一般財団法人
日本環境衛生センター東日本支局
技術調査役 中臣昌広氏

防災シンポジウムとは？

阪神・淡路大震災を契機に制定された
『防災とボランティアの日(1月17日)』及び
『防災とボランティア週間(1月15日～21日)』
にちなんで市民及び職員の防災意識の高揚と地域防災力の向上
を図ることを目的として、毎年開催している防災イベントです。

講演者プロフィール

中臣昌広氏

一般財団法人日本環境衛生センター東日本支局
(所在地:川崎市川崎区四谷上谷町10-6)
環境生物・住環境部 環境生物課に技術調査役として勤務

経歴

- 上智大学理工学部化学科で資源エネルギーの有効利用と環境浄化問題などを研究。卒業後、文京保健所等において環境衛生監視員として建築物衛生やプールや公衆浴場のレジオネラ対策など、幅広い分野で活躍するとともに、保健所・環境衛生監視員の人材づくりに尽力する。
- 阪神・淡路大震災や東日本大震災、熊本地震などで、環境衛生監視員として得られた知識と経験をもとに、幅広い避難所支援を行った。
- 実際に現場を見て感じた避難所の衛生の問題などについて、学会での発表を始め、各種災害対策セミナーや自治体研修会での講師など、全国規模で広く周知活動を行っている。

第2部 パネルディスカッション

「避難所における環境衛生」

～平成30年7月豪雨における広島県坂町への支援から～

【コーディネーター】

中臣昌広氏

【パネリスト】 広島県坂町等に派遣された川崎市職員

幸区 危機管理担当	青木 優樹 職員
多摩区 危機管理担当	青柳 努 課長補佐
衛生課	佐竹 郁子 課長補佐
麻生区 危機管理担当	西山 達也 担当係長
地域支援担当	古屋 智子 職員

【内容】

- 広島県坂町の被災状況について
- 災害派遣業務とは…
- 坂町の避難所の様子
- 避難所における環境衛生状況



主な著書

「水」の安心生活術(集英社新書)
<集英社>
ISBN 978-4-08720-235-9

都会でできる雨、太陽、緑を生かす小さな家
<農山漁村文化協会>
ISBN 978-4-54008-157-6

レジオネラ症対策のてびき(倉文明氏監修)
<日本環境衛生センター>
ISBN 978-4-88893-141-0

その他「地域保健」、「生活と環境」などの
専門誌等でコラムを多数連載

主催 川崎市自主防災組織連絡協議会 川崎市
問合せ 川崎市総務企画局危機管理室 地域連携担当
TEL 044-200-3553
FAX 044-200-3972